

白鳥 誠 市政レポート



発行：千葉市議会議員 白鳥誠事務所

〒266-0033 千葉市緑区おゆみ野南2-97-9 TEL.043-293-7130 FAX.043-307-4882

E-mail : info@m-shiratori.jp URL : www.m-shiratori.jp

令和3年4月

千葉市長選挙・千葉県知事選挙が3月21日同日に行われ、千葉市長には神谷元副市長が、千葉県知事には熊谷前千葉市長が、当選しました。これまでの両選挙は、任期満了による知事選挙は3月、市長選挙は5月に行われていましたが、熊谷前市長が知事選挙に出馬するために市長を辞職したことで、今回同日で選挙が行われることになり、神谷市長と熊谷知事が同時に誕生しました。これにより、市と県の連携による行政の効率化と市民サービスの向上が進むことが期待されます。

R3年度予算については、新市長による初めての市政運営となる予算となることから、新市長の政策を実現できる余地を残すため、新たな政策的判断を要する事業を留保しつつ、新型コロナウイルス感染症対策など、継続的に取り組む内容を中心とした「準骨格予算」が編成されました。

今号では、新年度予算の概要について、また、今後の県市間連携について報告いたします。

R3年度一般会計予算

一般会計 4,664億円 (前年度比 28億円増、0.6%増)

新型コロナウイルス感染症対策経費を除く

4,630.5億円(前年度比5.5億円減、0.1%減)

◎歳入予算の主な内訳

(単位：億円、%)

	R3年度	対前年度増減額	増減率
①市税	1,900	△106	△5.3
②国庫支出金	841	+21	+2.6
③市債	664	+132	+24.8
④諸収入	282	△56	△16.7
⑤県支出金	249	+29	+13.1
⑥地方消費税交付金	214	△6	△2.6
⑦地方交付税	146	△38	△0.3

〈主な増減の要因〉

- ①市税
新型コロナウイルス感染症の影響による給与所得の減少や企業収益の減収により、減額
- ②国庫支出金
子ども・子育て支援給付費収入、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金収入が増額
- ③市債
臨時財政対策債*が増額(320億円、前年度予算+120億円)
*地方の財源不足に応じて本来現金で支給されるべき地方交付税の代わりとして認められる市債
- ④諸収入
融資残高の減に伴い中小企業資金融資預託金収入が減額
- ⑤県支出金
新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金収入、民間保育園等の入所児童数の増により子ども・子育て支援給付費収入が増額
- ⑥地方消費税交付金
消費の減少が見込まれていることなどに伴い減額
- ⑦地方交付税
液化化対策事業の概成に伴い震災復興特別交付税が減額

◎歳出予算の主な内訳

(単位：億円、%)

	R3年度	対前年度増減額	増減率
義務的経費	2,666	+37	+1.4
人件費	982	△5	△0.5
扶助費*1	1,171	+26	+3.4
公債費(借金返済費用)	514	+16	+3.1
投資的経費	458	+21	+4.7
補助事業(国の補助金が支給される事業)*2	102	△29	△22.3
単独事業(市が単独で行う事業)*3	349	+44	+14.3
その他の経費*4	1,540	△30	△1.9
合計	4,664	+28	+0.6

〈増減の主な内訳〉

R3年度 前年度増減 (単位：億円)

*1 扶助費		
・子ども・子育て支援給付	219	+17
・障害者介護給付等	169	+12
・生活保護	353	+1
・障害児通所給付等	47	+4
*2 補助事業		
・学校施設環境整備	2	△16
・適正配置改修	-	△10
*3 単独事業		
・新庁舎整備	80	+39
・千葉公園体育館整備	27	+21
*4 その他の経費		
・新型コロナウイルス対策	25	+25
・中小企業資金融資預託金	155	△56

(裏面に続く)

市政報告のお知らせ

4/25 (日) 11:00~12:00 (鎌取コミュニティセンター・2F集会室)
13:30~14:30 (菅田公民館・工作室)
15:30~16:30 (あすみが丘プラザ・3F会議室3)

再び市債残高は1兆円を超えました！

全会計市債残高	R3年度	R2年度	前年度比 +117億円
	1兆16億円	9,899億円	

新型コロナウイルスの影響による収収減に伴い、臨時財政対策債が増加(+120億円)したため、約117億円増加し、全会計市債残高は、1兆円を超えました。

財源不足を埋めるために、国から地方交付税(現金)が支給されることとなりますが、国も苦しい財政状況のため、地方に借金(臨時財政対策債)をさせて、財源を確保する方法をとっています。臨時財政対策債の残高はR3年度・2,574億円となり全市債残高の1/4を超えました。国は、この市債の借金返済の財源を地方交付税の算定に組み入れることにしていますが、地方交付税以上にこの臨時財政対策債は増え続け、その返済額は千葉市の財政を大きく圧迫しています。この臨時財政対策債の制度は、当初2001年から3年間の時限措置のはずでしたが現在に至るまで延長され、財政健全化を進めるうえで、大きな弊害となっています。私は、この点について、ずっと以前から指摘し改善策を求めています。抜本的な解決策は国が臨時財政対策債の制度を廃止しなければなりません。

万全な新型コロナウイルス感染症対策を！

財政健全化は千葉市にとっての重要課題となっていますが、新型コロナウイルス感染症が終息するまで、そのための対策強化が必要です。「新型コロナウイルス感染拡大防止対策」「生活者・事業者支援」に対する積極的な財政出動が必要です。市債残高が増え、健全化のスピードは一時的に鈍くなったとしても、この必要な対策は、優先的に行うことが求められます。きめ細かな「生活者・事業者支援」をしっかりと行いながら、PCR検査体制の拡充とワクチン接種体制を万全にしていけることが最重要課題です。

神谷新市長 誕生！

神谷市長は、熊谷前市長時代、千葉市の経済農政局長(H26年度～1年間)・副市長(H30年度～3年3か月間)を務め熊谷市政を実質的に運営し、3月21日の千葉市長選挙では、熊谷前市長の後継者として出馬・当選しました。熊谷前市長は、全国政令市中ワーストの財政状況を立て直し、財政健全化を進めながらも未来への投資を積極的に行いながら、時代が求める市役所をつくるために様々な市政改革に取り組んできました。しかしながら、その改革は道半ばです。その改革を今後も継続する市長として、神谷新市長が誕生しました。私は、今後も行政効率向上と市民サービス向上の両方の観点から、市政運営(市役所改革)が進められているかどうかをチェックしてまいります。



千葉市と千葉県の連携による行政効率・市民サービスの向上を！

千葉市は政令指定都市です。県とほぼ同等の権限を持っているため、これまで県に頼ることなく独自の施策展開をしてきました。また、県も千葉市に目を向けることはあまりありませんでした。

そのため、課題を共有し、課題解決に向けた連携が十分に取れていると言えない状況にありました。今回、千葉市長選挙と千葉県知事選挙が同日に行われたことによって、千葉市の経費は約1億円削減される見込みとなっており、県においても経費が削減されることとなります。同様に、様々な課題において、市と県の連携を進めることにより、税金が有効に使われるようになり、行政効率と市民サービス向上を進めることができます。

市と県の水道事業の統合を！

千葉市の水道は、県と市の給水区域に分かれており(人口比一県95:市5、緑区では越智町以東が市水道局による給水区域)、市水道事業は毎年巨額の赤字が発生(R1年度約10億円の赤字・年々赤字額は増加傾向)しています。私は、10年前から、この水道事業の統合を求めてきましたが、県は、近年やっと統合に関する意見を聞くようになりました。将来にわたり住民の納める税金が最も効果的に使われるためには、水道事業の統合が求められます。熊谷知事のリーダーシップによる早期の統合実現が期待されます。神谷市長と熊谷知事による事業統合への共同歩調を求めてまいります。

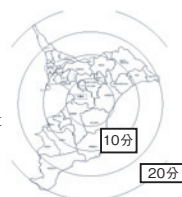


防災ヘリコプターの共同運航を！

千葉市は消防(防災)ヘリを2機所有していますが、この維持管理経費は年間約2億円、また、老朽化も進んでおり、近い将来、更新(買い替えに約20億円かかる見込み)が必要となります。千葉市にとって、ヘリを2機所有・維持するための経費負担が大きな課題となっています。一方で、県は防災ヘリを所有していないため、本市のヘリが県全体の災害時の情報収集等の防災ヘリの役割を担っています。私は、これまでも県からの維持管理にかかる費用負担を求めてきましたが、今後千葉市が所有・維持管理を続けながらも、共同運航等による連携強化により、市民・県民の利益となるような方策を求めてまいります。

時間別飛行距離

※時速225キロメートル
(一般的な飛行速度)で計算
※内円から5、10、15、20分の
地点での到達距離



千葉市は政令指定都市です。指定都市は、本来道府県が行う事務を、道府県に代わって行っており、道路法や都市計画法などの個別法やそれに基づく政令により多くの特例が設けられています。そのため、市と県はそれぞれの独自の方向性を歩みがちになっていますが、多くの分野で連携していくことが、多くのメリットを生むこととなります。上記の「水道事業の統合」「消防ヘリの共同運航」の他、私は、地域活性化・医療・防災部門等についても、県市の連携を進め、税金をより効果的に使って、行政効率の向上と市民サービスの向上を図ることを求めてまいります。

白鳥誠プロフィール



1958年 (昭和33年1月30日生まれ)
1976年 千葉県立木更津高校卒業
1981年 立教大学を経て、そごう百貨店入社(1999年まで18年間、有楽町そごう勤務)
2003年 衆議院議員公設秘書
2007年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。初当選
2011年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。2期目当選
2015年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。3期目当選
2019年 (4月)千葉市議会議員選挙において緑区より出馬。4期目当選

今回取り上げた問題等、市政に関わること何でも結構です。みなさんのご意見をお聞かせください。どうぞよろしくお願いいたします。

E-mail: info@m-shiratori.jp FAX: 043-307-4882